

13全国スト-16中央斗争の高揚を基礎に

# 本日の訪米阻止、運動と連帯

各クラスゼミは授業放棄で起つ。△

1 動動者、学生の13-16訪米阻止斗争の庄倒  
向高揚を興奮し、佐藤アメリカに行くのが  
に向うとしている。権力は才全の整備陣として、自らの利益を貫徹せんとしている。  
日本帝国主義の経済的自立の上に軍事的、政治的に東南アジアの盟主たらんとして、佐藤  
は沖縄へ返還をテコに七十一年安保条約の「自動延長」を実動し、安保の侵略的膨張を行  
うため訪米をすなうだ。沖縄の「核取扱い」が実際は「核かくし」でB52、ボラジの搭載  
原爆を轟き残存し、被爆の枚を自由使用を狙う。最終的意図統一として、国民の王制的  
反対を撲滅、國家権力であることをしぶしぶしておこうのだ。

2 我々は13日、千五百人-16日、東京一千人

者階級と連帶して斗争的労働

1 共斗は全闘争を組織して、戦斗的労働

11 は全国政局上で斗争を組織の大隊で連帶し、訪米阻止学生

公園)には十一万近くのほる労働者学生の鬱憤の一望として、我

私は全国学生共一千〇〇〇名の隊列で闘い、大阪二三石の隊列で

決起した。我々は、産点における職場放棄で権力の彈圧にめげ  
ずキウガ労働者部隊、美に存在しているし、学生においても「謀

題と基本戦術の一一致」下、沖縄の核つき返還運動をめぐらす佐

藤訪米阻止の巨大な継続的実現により、今后七十年代反独占

斗争の勝利的展望がさしかれたことを確認するならば、前進あるのみだ。トロ諸派の反戦・民衆のセクト主義の左右の日和

見玉義とのりんえ、安保効破棄、沖縄基地撤去即時全面返還を

がらとて、いこうではない。

3 本日、佐藤ヶ木阻止中央斗争

と連帶し、各クラス授業放棄で

斗II抜け

1 日佐藤訪米阻止学生共斗は全国で行なわれたことと並んで、16日反対

府民共斗のメントーとして、田中桂一参議院議員として代々

本奮闘、更生奉手で下にこえて、ヨシモト宣義の首領をば

はのけ、奮闘した。我がトロ諸派は、労働力阻止、物理的

にのみ牽引化し、そして活動家が現地で工作を廣く乱強する。我々は名門において訪米阻止斗争を斗争しておいたし、そ

の戦争を基盤に政治的集会、東京においてこそ戦闘しておいたし、そ

の外、16日山川幸運連帯委員会-東京においてこそ戦闘しておいたし、中央の斗争を基礎にそはじり、中央の

樹木修復を斗争として、東京を戦闘へ斗争、生徒ヨラフキもで市民アピールし、我々の斗争の隊列をつくり、ヒ

中央斗争を放棄金へ留保せんと、本室に行

佐藤訪米阻止学生共同(市大実行委員会)